

平成 25 年 度 事 業 報 告

里 親 開 拓 運 動 (愛 の 手 運 動)

(1) “あなたの愛の手を” の申込者状況

申込者数 < 第 1 表 >

年度		平 19	平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	協会発足 以来合計
神戸	市 内	7 2	7 7	5 6	1 0 0	1 0 9	7 1	8 4	6 8 6 2
	県 下	1 3 5	1 2 8	1 3 8	1 5 4	1 5 8	1 6 7	1 5 8	1 0 3 5 6
	そ の 他	1 8	1 3	1 3	6	7	1 1	9	1 1 3 3
	計	2 2 5	2 1 8	2 0 7	2 6 0	2 7 4	2 4 9	2 5 1	1 8 3 5 1
大阪	市 内	4 0	4 4	3 9	4 3	5 2	4 6	4 4	—
	府 下	6 0	5 3	4 8	4 9	7 0	4 8	7 0	—
		(8)	(1 0)	(2)	(4)	(5)	(8)	(5)	—
	そ の 他	1 7 7	1 6 9	1 3 5	1 6 4	1 9 5	2 5 0	1 3 8	—
計	2 7 7	2 6 6	2 2 2	2 5 6	3 1 7	3 4 4	2 5 2	2 3 6 2 5	
合 計		5 0 2	4 8 4	4 2 9	5 1 6	5 9 1	5 9 4	5 0 3	4 1 9 7 6

神戸（神戸新聞・ラジオ関西）、大阪（毎日新聞大阪版・奈良版・京都版・滋賀版・和歌山版・島根版・鳥取版）における毎週 1 回の呼びかけに対する申込者数の状況は < 第 1 表 > の通りである。府下の（ ）書きは、堺市在住者。

(2) 家庭委託状況

平成 2 5 年 度 中 に 協 会 が 取 り 扱 っ た 要 養 護 児 童 の 状 況 < 第 2 表 >

		取 扱 児童数	取 扱 い 状 況						
			協 会 委 託	児 相 よ り 委 託	推 薦 中 面 会 中	実 引 親 取	里 親 探 し 中 止	適 任 者 な し	人 選 中
神戸	愛 の 手 掲 載 児 童 数	4 4	1 5	2	9	1	4	0	1 3
	そ の 他 取 扱 児 童 数	3	3	0	0	0	0	0	0
	計	4 7	1 8	2	9	1	4	0	1 3
大阪	愛 の 手 掲 載 児 童 数	9 1	1 8	9	1 0	0	1 6	7	3 1
	そ の 他 取 扱 児 童 数	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9 1	1 8	9	1 0	0	1 6	7	3 1

平成 25 年度中に委託した児童の年齢と委託予定期間 < 第 3 表 >

年 令 期 間		0	1	2	3	4	5	6 ~	10 ~	13 ~	計
		神 戸	養子縁組	1	1						
期間不定			1		1		1	1		1	5
短期										1	1
週末				1		2	1	4		2	10
小 計	1		2	1	1	2	2	5	0	4	18
大 阪	養子縁組	6	4	2		2	2				16
	期間不定										0
	週末里親							1	1		2
	小 計	6	4	2	0	2	2	1	1		18
合 計		7	6	3	1	4	4	6	1	4	36

(3) 協会発足以来、里親探しを行った児童の状況

昭和 37 年から協会が取り扱った児童の状況 < 第 4 表 >

現 在 の 状 況		神戸事務所	大阪事務所	合 計	
		S37 ~ H26.3 月末	S39 ~ H26.3 月末		
里 親 へ 委 託 し た 児 童	現在里親委託中	神戸市内	20	—	20
		兵庫県下	29	—	29
		大阪市内	—	5	5
		大阪府下	—	4	4
		堺市	—	2	2
		その他	2	12	14
	養子縁組が完了したもの		677	1051	1728
	就職および大学進学		120	30	150
	実親家庭へ復帰したもの		134	73	207
	事情があって里親から施設へ		91	93	184
	死亡したもの		3	0	3
	小 計		1076	1270	2346
	児童相談所から委託したもの		38	318	356
	週末里親へ委託中のもの		38	7	45
	週末里親への委託完了したもの		92	53	145
小 計		130	60	190	
未 委 託 児 童	現在児童相談所へ推薦中のもの	7	10	17	
	人 選 中	13	31	44	
	実親等の引き取りのため中止	265	301	566	
	里親委託方針の変更(施設)	406	651	1057	
	里親探し中に死亡	4	1	5	
	小 計	695	994	1689	
合 計		1939	2642	4581	

協会が昭和 37 年以来(大阪は昭和 39 年以来)里親探しを行った児童の現状の内訳は < 第 4 表 > の通りである。

平成25年度 事業報告

— 神戸事務所 —

I 里親家庭及び養育希望者のための研修とレクリエーション

養育希望者のための研修

里親や養親を希望する人たちのために今年度は次のような研修を行った。

■里親認定のための研修

(1) 養育里親基礎研修

兵庫県と神戸市から委託を受け、基礎研修4回、認定前研修3回を実施した。基礎研修は、ビデオやパワーポイントを活用し、里親制度の基本的な意味と役割等について解説し、グループ討議などを行った。なお、養子縁組を希望する人たちにも社会的養護の重要性から、研修の受講をすすめている。25年度の受講者は263人で前年度より49人増加した。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち	
					兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成25年 4月20日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	47	34	13
	実習	5月14日(火)	神戸少年の町・少年の町乳児院			
第2回	講義	8月28日(火)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	30	23	7
	実習	9月17日(火)	神戸真生塾・真生乳児院			
第3回	講義	10月12日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	23	15	8
	実習	11月12日(火)	神戸少年の町・少年の町乳児院			
第4回	講義	平成26年 2月1日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	39	26	13
	実習	3月5日(水)	神戸真生塾・真生乳児院			
合 計				263	185	78

(2) 養育里親認定前研修

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち	
					兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成25年 6月2日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	69	44	25
		3日(日)				
第2回	講義	9月28日(土)	姫路市市民会館 第1教室 第2教室	21	19	2
		29日(日)				
第3回	講義	11月30日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	29	18	11
		12月1日(日)				
各回	実習		県下及び神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施	108	72	36

■養子縁組を希望する人のための研修

・養子を育てたい人のための講座

今年度は神戸、姫路、西宮で各1回、計3回開催した。

2日間のプログラムで構成し、1日目はビデオを見てグループ討議し、2日目は養親の子育て体験談を中心に、小グループに分かれて話し合いの時間をもった。講座への受講者募集は新聞やチラシによる広報の他、県下の市町の広報誌に掲載を依頼し、協力していただいている。

今年度は試みに姫路会場で2日間のプログラムを1日で行うプログラムを実施した。参加者は3会場で姫路が一番多かった。受講者は64人で前年度より15人増加。

会場	場 所	日 時（各土曜日）	参加人数
神戸	神戸市総合福祉センター 第6研修室	平成25年7月6日・20日 13:30～16:00	13家庭 21人
姫路	姫路市国際交流センター セミナー室A	平成25年11月2日 10:00～16:00	15家庭 25人
西宮	西宮市総合福祉センター 多目的ルーム／BIB2会議室	平成26年2月15日・22日 13:30～16:00	11家庭 18人
計			39家庭 64人
プログラム			
第1日目 ビデオの上映とグループ討議 パワーポイントを使って里親・養親を求める子どもたちの現況の解説			
第2日目 養親の子育て体験談 養親子関係を築くために考えておきたいこと（グループ討議） 養子を迎えるための手続き・養子制度の説明他			

里親家庭のための研修と支援

（1）里親のための子育て研修会

「保育ボランティア養成と家族支援講座」と里親研修をジョイントして、次のように2回実施した。

日 時	平成25年7月2日（火）/9日（火）10:00～12:00
場 所	神戸市総合福祉センター 第1研修室
テ ー マ	「学んで実践！子育てコーチング」
講 師	武田 建 氏（関西学院大学 名誉教授）
参加人数	47人（うち里親18人）/ 36人（うち里親15人）

（2）養育里親更新研修

登録里親の5年毎の更新研修が25年度より行われるようになり、以下のように実施した。初めての更新研修でもあり、5年前の登録里親のうち246人（兵庫県220人、神戸市26人）が受講。実習が必要な里親には児童養護施設での1日実習を行った。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成25年 7月13日（土）	神戸市教育会館 大ホール	105	94	11
第2回	講義	9月7日（土）	宝塚商工会議所 多目的室	71	60	11
第3回	講義	11月3日（日）	姫路市国際交流センター セミナー室A	43	43	0
第4回	講義	平成26年 2月12日（水）	明石市生涯学習センター 学習室3	27	23	4
各回	実習		県下及び神戸市内の 児童養護施設で実施	27	20	7
合 計				246	220	26

(3) 専門里親研修

今年度は兵庫県の上親2名、神戸市の里親1名（1日目のみ）の上育実習を行った。実習の日程及びプログラムは下記の通り。

日程	実習場所	プログラム
1日間	情緒障害児短期治療施設 県立清水が丘学園	11:00～14:30 ①オリエンテーション ②施設の説明と見学 ③講義「子どもの発達と虐待について」
4日間 (うち1泊の 宿泊を伴う研 修含む)	①児童養護施設 立正学園 ②児童養護施設 三光塾	・児童養護施設の機能 ・被虐待児への日常生活における援助方法 ・被虐待児の家庭復帰にむけた援助 ・子どもの権利を守る取り組み
1日間	①知的障がい児施設 さわらび学園 ②知的障がい児施設 ななくさ学園	10:30～16:30 知的障がい児施設の機能 知的障がい児の理解と支援
1日間	兵庫県 中央こども家庭センター	13:30～16:30 ①講義「発達障害の理解」 ②講義「関係機関との連携」 ③実習の評価及び意見交換 ④一時保護所の見学

(4) 養子縁組制度の説明と懇談会

これから養子縁組の手続きを考えている上育中の里親を対象に「養子縁組制度の説明と懇談会」を下記のように行った。また、すでに縁組を行っている上親にも参加していただき、上育経験を語っていただいた。

日時	平成26年1月29日（水）
場所	神戸市総合福祉センター4階 第2研修室
参加者	18人

(5) 真実告知研修会

18回目となる今年度の真実告知研修会は第1部の最初に協会から「告知のあり方」として告知の基本的な事柄について話した後、「学校でのいのちの授業への対応」というテーマで、2人の上親から、子どもがいのちの授業での対応と告知を中心に経験を話をいただいた。第2部では5つのグループに分かれて意見交換をした。他府県からも里親支援専門相談員、施設職員などの参加があった。

日時	平成26年3月15日（土）
場所	神戸市総合福祉センター 第1研修室
参加者	45人

(6) 里親支援プログラム

■「里親サロン」の開催

10年目になる里親サロンは1年間に延べ283人（里親189人、子ども94人）の親子が参加。サロンには欠かせない保育ボランティア22人に一時保育のご協力をいただいた。夏休み、クリスマス会、春休みなどに特に多くの親子の参加があった。

里親サロン開設月と参加人数

月		H25	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26	2月	3月	合計
参加 人数(人)	里親	11	10	10	10	19	14	13	14	56	12	20	189		
	子ども	3	0	2	3	16	3	4	4	40	4	15	94		

■里親家庭で育つ子どものための学びのサポート

里親家庭の小学生を対象に、学びのサポートを開始。小学校教員経験のある方に里親に親として子どもの学習にどうかかわればよいのか等、希望に応じて相談を受けた。

里親家庭の親睦と交流

(1) 第45回ぼんぼこキャンプ

今年度は奈良県の「曾爾青少年自然の家」で3日間キャンプを行ったが、猛暑のため2日目の山へのハイキングは中止にし、山のふもとの散策と宝さがしや、室内でのクラフト制作を行った。

日 時	平成25年8月16日(金)～18日(日) 2泊3日
場 所	国立曾爾青少年自然の家 (奈良県)
参加人数	72人

(2) 新春初笑い大会

午前中はオリンピックイヤーに関連して、アメリカ、韓国、日本、イギリスの4カ国のゲームを4つのコーナーを設けて行った。午後には4つの班に分かれてゲーム大会。この初笑い大会を楽しみに他府県からも毎回親子での参加もあり、交流を深める貴重な機会になっている。

日 時	平成26年1月12日(日) 10:30～15:00
場 所	神戸市婦人会館 さくら
参加人数	90人

グループぼんぼこの活動

中・高校生の里子、養子及びボランティアを中心とした「グループぼんぼこ」の活動は以下の通り。

平成25年	8/3	キャンプの打合せと準備会
	8/16	
	～18	「国立曾爾青少年自然の家」で開催された「第45回ぼんぼこキャンプ」への協力
	8/31	キャンプの振り返り会

12/18	「新春初笑い大会」 スタッフ打合せ
平成26年 1/7	「新春初笑い大会」の準備会
1/12	「新春初笑い大会」への参加と運営協力（会場運営、司会進行他）
3/9	「チャリティ映画会」への参加

Ⅱ 季節里親・週末里親の促進事業

（１）ボランティア里親の募集と説明会

季節里親・週末里親を募るための説明会を6月と11月に2回開催。プログラムは養護児童の現状についてパワーポイントで説明、ボランティア里親の意味や役割について話した後、週末里親さんから自身の活動について話していただき、参加者との意見交換を行った。説明会の後、希望者には受付面接を行った。

日 時	平成25年6月30日（日） 13:30～16:00	平成25年11月9日（土） 13:30～16:00
場 所	神戸市総合福祉センター 第6研修室	〃
参加人数	20人	13人

（２）季節・週末里親の活動報告と交流会

今回はインフルエンザのため、当日になっての欠席者が多くボランティア里親の参加者が少なかった。兵庫県や神戸市の児童養護施設職員の参加もあり、それぞれの立場から経験を話し合い、情報交換や交流の機会となった。

日 時	平成26年2月9日（日）10:00～14:30
場 所	神戸市総合福祉センター 第1研修室
内 容	第1部 ミニ・シンポジウム 第2部 昼食後は参加者相互で意見交換
参加人数	25人

委託・交流中の児童の状況（神戸事務所）

季節里親

年齢別 人数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
夏 季	8	9	16	14	12	59
冬 季	9	10	16	14	11	60

夏季には59名の児童が53家庭に、冬季には60名の児童が55家庭に引き取られている。子どもの年齢内訳は上記の通りである。

1回の委託期間は、概ね5日～10日である。また、春休みや連休、旅行など里親家庭の家族行事に呼ばれている子どももいる。

週末里親

〈平成26年3月末〉

年齢別	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
人数	9	7	8	8	5	37

今年度末で週末里親に委託が継続されている児童は37人。年齢の内訳は上記の通り。中高生の場合は児童を中心に里親、施設等関係者の連携が大切である。

施設退所や養育里親への委託等で週末里親との交流が終了した児童は17人である。

Ⅲ 子育て支援活動

(1) 子育てを楽しむ「親子講座」

- ・「親子陶芸教室」

日 時	平成25年7月31日（水）午前10時～12時 8月21日（水） //
場 所	神戸市生涯学習支援センター(コミスタこうべ)3階
講 師	陶 芸 家 西 脇 正 明 氏 ゲーム指導 小 林 晋 一 氏
参加人数	14家庭 31人（うち、里親家庭の親子5組12人）

(2) 「子育てサポートグループぼちぼち」の活動

保育ボランティアの登録者と、親支援プログラムの修了者や講座などへの参加者で、一時保育の相互援助活動を組織化し、一時保育つきのプログラムを提供している。

(イ) 一時保育活動

里親サロン、里親家庭のための研修、養育里親研修、保育ボランティア養成と家族支援講座、母親グループの座談会、子育て支援講座などで一時保育を実施し、協会がボランティアコーディネートを行っている。

(ロ) 「保育ボランティア養成と家族支援講座」の開催

保育ボランティアを募集・養成する目的と、里親家庭、地域の子育て家庭にも役に立つ知識を提供する目的とをかねて、協会と「ぼちぼち」の共催で今年度は7月に2回行った。

(ハ) 子育て座談会

数ヶ月に1回程度、育児中の母親が集まって近況や悩みなどを話し合う座談会を開催。

(ニ) ぼちぼちカフェの開催

今年度は子連れでも気軽に立ち寄って子育ての悩みを話せるようにカフェスタイルでの講座等を企画し、兵庫県の「子育て元気アップ活動助成」を受けて「ぼちぼちカフェ」

（事業名：「悩める親のためのほっとカフェ～はじめの一步をふみだそう」）を下記のとおり実施した。午前中から始めて昼食をはさみ午後からは講師を交えてフリートーク。

月日	会 場	参加者	タイトル/講師
H25 9/18	神戸市総合 福祉センター 第3研修室	8人	「個別相談会」 講師：長谷川勝好 (母と子の相談室&遊学塾+雨宿り塾ANDANTE主宰)

10/4	神戸市総合福祉センター 第5研修室	14人	「あなたならきっと大丈夫」 講師：小崎真佐子（兵庫県LD親の会たつの子役員）
10/19	兵庫勤労市民センター 第2会議室	8人	「心の雨宿りをしませんか？」 講師：長谷川勝好 （母と子の相談室&遊学塾+雨宿り塾 ANDANTE主宰）
11/19	神戸市婦人会館 あじさい	13人	「子育て中のママたちへ～今さら聞けないクスの話」 講師：山本美樹（薬剤師）
12/3	神戸市婦人会館 あじさい	13人	「自分を癒すアロマ～オイルハンドトリートメント」 講師：中島綾香 （ナチュラル・アロマセラピー教室 アロメリア主宰）
H26 2/3	神戸市総合福祉センター 第6研修室	30人	「子育て中のママのための境界線研修～人との心地よい距離を学ぼう」 講師：徳永桂子（思春期保健相談士）
3/11	神戸市総合福祉センター 第5研修室	15人	「絵本でつながる心と心」 講師：岸本安代 （NPO法人 絵本で子育てセンター 絵本講師）

Ⅳ 里親支援のための講演とシンポジウム

今年度は第1回目の里親支援に関する講演とシンポジウムを開催した。関西・西日本の里親支援機関や里親支援専門相談員、児童相談所の里親担当者、施設職員等呼びかけ、下記のようなプログラムで実施し、「来年もぜひこうした研修会を企画してほしい」との声が多くあった。

日 時	平成25年10月22日（火）10:30～16:30
場 所	神戸市総合福祉センター 第1研修室
テーマ	「効果的な里親支援とは？ 里親支援の今とこれから」
プログラム	第1部 講演 「里親支援機関の役割と課題」 講師 前橋 信和氏（関西学院大学教授） 第2部 問題提起 西村 孝子氏（里親サポートセンター青い鳥） 樽沼あづさ氏（元ニューヨーク州里親ソーシャルワーカー） 終了後、軽食で参加者の交流会
参加者	66人

Ⅴ 里親・養子縁組相談支援事業

兵庫県より補助金を受けて、予期しない妊娠でとまどっている人たちを支援するための事業を行った。研修会等で「子育てサポートカード」を配布し、里親・養子縁組についての取り組みの広報を行なった。相談件数は多くはないが、受理した養護相談についてケースワーカーが面接、家庭訪問などの支援を行い、また産婦人科医にも協力していただいた。

VI 広報活動

(1) 里親制度をすすめるための講演とシンポジウム

毎年一般市民を対象に神戸市里親会と共催しているが、今年は東京都八王子市でファミリーホームを運営している坂本洋子さんを招いて実施した。

日時	平成25年10月26日（土）13:30～16:30
場所	神戸市婦人会館 さくら
参加人数	133人
プログラム	講演 講師 坂本 洋子 演題「子どもの生きる力を支える」

(2) 子どもの日キャンペーン

5月5日子どもの日の神戸新聞朝刊1ページ県下版で36回目のキャンペーンを実施。今回は「家族のかたちはさまざまです」というキャチフレーズに、積木を使って家をイメージし里親制度を紹介した。この企画も高く評価され、神戸新聞広告賞（銅賞）を受賞した。協賛企業・団体 31社

(3) 愛の手運動の写真とパネル展、オレンジリボンキャンペーンの開催

平成25年12月12日～15日の4日間「ギャラリーメトロ」で愛の手運動の写真とパネル展、チャリティバザー、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーン等を行い、啓発を行った。

(4) 里親出前講座

神戸市里親会と共に実施している「里親出前講座」を協会がコーディネートして、以下の大学等で行った。

武庫川女子大学、神戸学院大学、関西学院大学、明石市立和坂小学校、花園幼稚園
受講者 延べ520人

(5) 機関誌「育てる」No. 50を大阪事務所と3550部を7月に発行。（共同募金配分金事業）

(6) 機関紙「は一もにい」を7月、10月、12月、26年3月にそれぞれ2900部発行。

(7) カラー刷啓発用チラシ「子どもたちがあなたとの出会いを待っています」を6000枚新たに作成し、イベントや各研修会等で配布した。

(8) これから里親を希望する人たちのための研修の参考資料や里親制度の啓発資料として「ケースワーカーと学ぶ里親養育の基礎知識」という冊子を1000部出版。（共同募金配分金事業）

(9) ホームページで協会の事業等を広報しているが、「とてもわかりやすい」「親しみやすい」との声があり、やはりホームページの広報は効果的であると感じさせられる。

(10) 他府県の里親研修や里親希望者の研修に講師として出講し、広報や交流につとめた。

(11) 「里親制度をすすめるために～愛の手運動のしおり」を1500部発行。

VII 職員のための研修

次のような研修会に参加し、職員のための研修を行った。

- ①岡田尊司「発達障害と呼ばないで」研修会（5/20 芦屋ラポルテ）
- ②清水が丘学園児童心理臨床セミナー公開講座（8/2）
- ③IFCO大阪世界大会（9/13～16）
- ④社会的養護研究会（9/30）

- ⑤里親支援機関職員・里親支援専門相談員研修会（9/26）
- ⑥ライフストーリーワーク研究会（2/23）
- ⑦兵庫県産科婦人科学会講演会「特別養子縁組～虐待防止・もうひとつの手段～」(3/9)
- ⑧児童養護施設職員等合同研修「情報モラル」（3/10）

Ⅷ 生活資金・教育資金貸付事業

里親宅を離れ、自立した生活をめざしている男性から運転免許証取得のための資金の申請があり、280,000円の貸付を行った。毎月1万円の返済の予定。

Ⅸ 活動資金を募るための活動

今年も活動資金を募るために他団体主催のバザーに出店したが、収益はあまり増えていない。また、個人や団体からも多くの寄付やバザー一品が寄せられ、活動を支えていただいた。

5/5	神戸新聞紙上で第36回目の愛の手広告キャンペーンを実施	
5/18	神戸まつりの湊川公園「はっぴいひろば」バザー	80,630円
10/6	健康福祉フェア（しあわせの村）	72,430円
11/6	神戸市手をつなぐ育成会「合同福祉バザー」	60,155円
12/13	「ギャラリーメトロ」チャリティバザー	370,780円
～16		
2/14	ホテルキャッスルプラザ バレンタインコンサート	30,000円
3/3	重心父母の会バザー	58,745円
3/9	チャリティ映画会バザー	13,710円
3/30	異人館の街に愛の調べin西神戸チャリティコンサート (神戸西かざみ鶏の館)	40,000円

他に、お母さんたちのグループが「ハンドメイドチャリティーマーケット」を開き、自分たちの手作り作品を販売し、協会へ寄付していただいた。

新しい試みとして昨年始めた、NPO法人ジャパン・カインドネス協会と大東化学（株）の協力で、大東化学明石工場と加西工場に設置している自動販売機に協会のステッカーを貼り、飲料1本の販売につき2円を協会に寄付していただく「ゆび募金」を継続。

Ⅹ その他

- (1) 神戸新聞社の推薦で、公益財団法人 社会貢献支援財団から表彰を受け、11月24日に帝国ホテルにて表彰式が行われた。
- (2) 劇団自由人会より、ミュージカル「かぎばあさん ぼうけんの島へ」と「知覧のさくら」（ピッコロシアター大ホール）に里親家庭の親子をご招待いただいた。

平成25年度 事業報告

◇ 大阪事務所 ◇

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

申込者の高齢化が進むなか、初回来所から委託までの期間が短くならざるを得ないので、委託前にはできるだけ講座を受講するよう勧めている。大阪府下、近畿圏、協会経由で委託をおこなった近畿圏外の児童相談所にも案内を送付しており、児童福祉司のオブザーバー参加、不妊治療クリニックの職員や昨年度より設置されている里親支援専門相談員のオブザーバー参加も増えている。

講座は、連続3回で土曜日13時30分から17時（最終回は17時30分）。のべ56組の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは11組、調査検討中1組である。児童相談所から勧められて講座を受講し、その後に地元児相からの紹介で子どもを受託している夫婦も増えており、協会の養親講座が事前研修の役割を担っていると思われる。

		第72回	第73回	第74回
日 時		6/1, 8, 15	10/12, 19, 26	3/1, 8, 15
場 所		大阪市立社会福祉センター会議室 他		
内 容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク		
	2 「養子里親の体験談」から	M夫妻	I夫妻	N妻
	3 「養子を育てること」とは・・・	岩崎 美枝子		
参 加 者		23組	16組	17組
オブザーバー参加者		10名	7名	4名

【成長した子どもからのメッセージ】

1歳1カ月の時に養親に引き取られたK君（24才・男性）を話者として迎えた。生みの親と育ての親が違うことを自然と理解し、受けとめていたというK君は、養親のことを「本気で言ったら本気で向き合ってくれる親だ」と話していた。これから社会人になる希望あふれたK君に、参加者も前向きな気持ちを感じたようだった。

日 時 3月8日（土）9時半～12時
場 所 大阪市立社会福祉センター
参加者 53名（保育11名）

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1) ふれあいキャンプ（於：YMCA阿南国際海洋センター）

8月27日（火）～29日（木）カヤック、カヌー、キャンプファイヤーなどを楽しんだ。8月の最終週に2学期が始業となる学校が予想以上に多く、例年より少ない参加者となってしまった。その分、参加者同士の交流、子どもとリーダー、協会職員の交流は密であった。

参加者 子ども10名、大阪南YMCA 5名、サブリーダー2名、協会4名

(2) 第15回 おやこDE うんどう会（於：大阪市立長居小学校）

11月4日（祝）前日の雨で水たまりがグラウンドに残っていたので、土を運んで水たまりを埋める作業をしてスタートしたにも関わらず、正午頃に天気急変して、運動会史上はじめて途中中止となったのは残念だった。成長した養子、これから養子を迎えようと考えている夫婦などを含む、14名のボランティアにお手伝いをいただいた。

参加者 55家庭（163名）、4施設（26名）、ボランティア14名、来賓3名

(3) JBクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を18年度より継続。月に1回（10時30分～15時）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加しているが、夏休みやクリスマス会は就園児の参加も多い。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。

毎月1回、計12回開催し、参加者はのべ154家庭。

(4) J BのOB会

開始からまる7年が経過し、J Bクラブの「卒業生」の数も増えた。夏休みや冬休みには顔を見せてくれることも多く、子どもを迎えたばかりの養親にとっては、先輩養親と交流する貴重な機会にもなっていた。しかし、最近はJ Bクラブの参加者に0～1才の低年齢児も増えたことや、「卒業生」の年齢があがり、エネルギーが高くなったことで、同じ場所で遊びを共有することが少し難しくなってきたため、一昨年度より夏休みの企画として、小学生以上の養子・里子と保護者を対象に実施。

7月31日(水) 参加者8家庭(16名)

(5) エリカの会

小学校入学前や既に小学生になってからの高年齢での委託を受けた養親を対象に企画し、まる5年が経過した。新メンバーが加わるのがあまりないため、育てている子どもが小学校高学年になっている養親も多く、委託当初の悩みよりも思春期を迎えることへの悩みが増えてきている。

第1回 7月12日(金) 参加者4名 協会4名

第2回 12月13日(金) 参加者3名 協会3名

【児童相談所里親担当者会議の開催】

大阪府・市の子どもを委託したことのある全国の児童相談所によびかけての里親担当者会議は、今年で25回目となった。例年通り2日間の日程を組み、1日目を研修会、2日目を学習会とした。また、1日目の夜には交流会をおこなった。

日時 2月6日(木) 研修会 13時30分～17時30分

交流会 18時～21時

2月7日(金) 学習会 9時30分～12時

場所 大阪市立社会福祉センター

内容 1日目 「新聞記者の立場から養子あっせん法の立案に携わって」

講師 高倉正樹氏(読売新聞東北総局編集委員)

コーディネーター 岩崎美枝子

「各所報告：養子縁組ケースの取扱状況並びに民間の養子あっせん団体との連携、課題について」

2日目 「不調事例を通して里親委託のあり方を考える」

発表 柴田千香氏

(愛知県西三河児童・障害者相談センター里親委託推進員)

参加児相 青森県中央、福島県中央、茨城県土浦、埼玉県川越、南、さいたま市、横浜市南部、長野県松本、石川県中央、福井県総合、岐阜県中央、浜松市、愛知県西三河、海部、名古屋市西部、三重県中勢、京都府家庭支援総合、宇治、京田辺、京都市、奈良県中央、高田、神戸市、兵庫県中央、西宮、川西、島根県中央、徳島県中央、愛媛県中央、福岡市、大阪府中央、東大阪、岸和田、堺市、大阪市

1日目 31児相(40名) 2日目 32児相(44名)

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1) 月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会の配分金をいただき、3,500部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No. 50を大阪・神戸事務所あわせて3,550部発行。大阪事務所では、会員、関係機関等に1,850部送付している。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

(1) 協会リーフレット(増刷): 300部

(2) 協会リーフレット(公益社団法人移行に伴い改訂): 2500部

- (3) 英語版簡易リーフレット（新規）：100部
- (4) 協会リーフレット（増刷）：15000部
- (5) 週末里親広報用チラシ（増刷）：30000部

【週末里親制度説明会】

『週末里親ってなあに？』と題して、説明会を開催した。今回は、週末里親制度の説明の後、参加者から週末里親制度に関する質問を受け、それに対して協会職員、施設職員が答えるというスタイルを取った。机をロの字型に並べ、意見交換をしやすい形にしたため、参加者からも活発に質問が出た。長年、週末里親制度を利用している施設の職員より、施設で暮らす子どもたちの生活や週末里親家庭へ委託した事例等話を話していただきながら、参加者の質問に答えた。参加者から有意義だったという感想が多く聞かれ、説明会終了後1カ月の間に2家庭の登録があった。個別相談ほど敷居を高く感じずに参加できるこのような形式での説明会を定期的におこなうことで、週末里親制度の周知、新規登録者の増加につながられるのではないかと感じている。

日 時	3月15日（土） 10時～11時30分
場 所	大阪市立社会福祉センター
内 容	①大阪市週末里親制度についての説明 ②質疑応答
参加者	6家庭9名、里親支援専門相談員1名 講師（施設職員）2名

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動の広報のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。5月16日（木）と10月3日（木）にJ R大阪駅前で実施した。協会活動の趣意書をつけた玩具（2回あわせて3,000個）を通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の仕入れ代とチラシ作製費の98,255円を、大阪曾根崎ライオンズクラブより寄付として受領した。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」が結成され、協会が事務局となって活動を行っている。毎月定例会を開催しているが、平成24年度より大阪市管の施設の里親支援専門相談員も定例会に参加するようになり、活動がより活発化した。

昨年に引き続き、5月26日にイオンモール鶴見緑地にて、里親制度の広報チラシをロゴマーク入りの風船とともに配布した。

12月1日（日）には、初めての試みとして、あべのハルカス近鉄本店の縁活プログラムに申し込み、近鉄百貨店内にある街ステーションに出店して、里親制度の広報活動を行った。ミニイベントとして、親子で楽しめるリコーダー演奏、里親についての絵本の読み聞かせ、里親制度の説明を行った。また、里親や子どもたちへのメッセージやイラストを布へ自由に描いてもらい、それをつなぎ合わせてパッチワークを作る取り組みを行い、多数のメッセージが寄せられた。

1月26日（日）には、西成区民センターにて「里親応援フェスタ～歌とお芝居とおしゃべりで知る里親制度～」を開催し、養育里親の体験発表、コーラス、演劇「おかえり！」の上演を行った。また、喫茶コーナーを設けたり、里親制度のパネル、里親や子どもたちへのメッセージ入りパッチワークの展示も行った。72名の参加があった。

【毎日新聞その他による報道記事】

- 13. 5. 17 「『愛の手』待つ子、全国に3万人 J R大阪駅前家庭養護促進協会PR」（毎日）
- 8. 2 「娘に贈る里親の愛 少女の物語出版」（毎日）
- 8. 18 「GLOBE 誰が負担すべきか？ 特別養子縁組の『コスト』」（朝日）
- 8. 26 「名前の由来は…揺れる少女の心 実体験基に小説出版」（神戸）
- 10. 5 「多くの子に家庭体験を 大阪で『里親制度』PR」（毎日）
- 12. 2 「『里親制度』PR 促進協会やボランティア 阿倍野でチラシ配布」（毎日）
- 12. 21 「チャリティオークション 温かい心をありがとう 収益132万円を寄託」（毎日）
- 14. 1. 1 「家族のかたち 『親子になる』歩み 悩み話して信頼育む」（日経）

- 1. 4 「あなたが信じるもの③ 結んだ親子 1000の絆」(読売)
- 1. 9 「養護協 福あめ販売 『十日戎』今宮戎神社参道 11日まで」(毎日)
- 1.22 「喜び、苦勞…親子で共に 里親フェスタ 『出会いのきっかけに』」(毎日)
- 1.23 「里親 演劇通じ関心を 『おかえり!』2年ぶり上演」(読売)
- 3.14 「『週末里親』説明会 あす・天王寺」(毎日)

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- 13. 5.12 非配偶者間生殖医療に関わるカウンセラー実務研修(岩崎)
- 6. 8 児童虐待防止協会の総会記念事業『少年と自転車』映画解説(岩崎)
- 7. 8 平成25年度家事調停委員研修(岩崎)
- 7.19 平成25年度ネットワーク型市民セミナー「里親ってなあに？」で
ドラマ「ありがとう、オカン」上映会でミニ解説(和田)
- 7.20 同セミナーでミニ解説(広瀬)
- 9.14 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会(岩崎)
- 9.15 IFC02013大阪世界大会分科会(山上)
- 9.18 長崎県里親会里親研修「試し行動について」(岩崎)
- 10.15 奈良県広陵町民生委員児童委員協議会青少年児童福祉部会研修会(山上)
- 10.15-17 小舎制養育研究会総会研修会パネラー(岩崎)
- 10.17 大阪市児童福祉施設連盟乳幼児分科会(中島)
- 11. 5 和歌山里親支援機関なでしこ研修会特別企画「新しい家族をつくる」(岩崎)
- 11.29 四恩学園乳児院職員研修(田邊)
- 12. 8 長野県中信地区里親会研修(岩崎)
- 14. 2. 3 愛知県合同里親援助者研修会(岩崎)
- 2.15 浜松市里親研修会講演(岩崎)
- 2.22 平成25年度福岡児童相談所里親研修会(岩崎)
- 2.27 奈良県平成25年度里親研修会(山上)
- 3. 4 京都府里親担当者会議(田邊)

Ⅲ. 広報と活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

例年通り、下記のようにおこなった。飴の業者の都合で種類や数も十分な仕入れができない状況がここ数年続いており、今年も、協会の支援者である向井珍味堂のご協力を得て、福豆をあわせて販売した。また、昨年より仕入れを始めた「七福神キャンディ」「七福神チョコボール」に続き、今年も新たに「七福神せんべい」も仕入れ、品揃えの充実につとめた。今年も3日間でのべ88名のボランティアさんにご協力いただいた。協会の活動紹介と支援依頼文を印刷したチラシを入れて広報活動もおこなっている。

日 時 1月9日(木)～11日(土)
場 所 今宮えびす神社
純 益 1,011,348円
チャリティボックスへの寄付 169,255円

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- 13. 4. 7 公開報告会「グローバル化時代における生殖技術と家族形成」(岩崎)
- 4.26 小舎制養育研究会理事会(岩崎)
- 7.27 大阪市里親会・大阪府里親支援機関共催の課題別研修(中島)
- 9.13-16 IFC02013大阪世界大会(全員)
- 9.22-23 修復的愛着療法研修会(岩崎・和田)
- 10.22 神戸事務所主催「効果的な里親支援とは？里親支援の今とこれから」(広瀬)
- 11.30 養子と里親を考える会第117回定例研究会(田邊)
- 12. 1 第23回リプロダクション研究会「養子縁組による親子形成とアイデンティティ

：歴史と現在」（田邊）

14. 3.17 平成25年度大阪府・大阪市・堺市里親会合同春季里親研修会（田邊）

3.20 今日から使える子育て応援プログラム「赤ちゃんともち」講演会（山上・中島）

V. ホームページ関連

平成11年3月にホームページを開設し、昨年度には新しいページへと移行した。ホームページの開設以来のアクセス数の合計は49万件を越えた。インターネットが情報収集の際の材料となる傾向はますます深まっており、さらに中身を充実させる必要があると考えている。昨年度からは、新たにFacebookページを作成し、毎日新聞社ホームページの「愛の手」記事欄へリンクを貼ったり、里親制度に関するイベントの広報、日常の協会活動などについて定期的な発信を行ってきた。

ホームページを通じての今年度の書籍購入は77件126冊。会員入会は5件であった。

メール相談については、以下のとおり。開設からの累積受付件数は1,260件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が4件、週末里親希望者が1件あった。

【地域別】

大阪府下	15
近畿圏内（大阪府を除く）	6
近畿圏外	15
海外	3
不明	10
合計	49

海外：アメリカ2件、不明1件

【相談者の年齢】

10代	1
20代	1
30代	7
40代以上	13
不明	27
合計	49

【相談内容】

養子を育てたい	25
里親一般について知りたい	5
縁組・入籍等の手続きが知りたい	0
週末里親について知りたい、やりたい	8
国際養子について知りたい	2
養子になりたい、里親を探してほしい	2
養育相談	1
その他	6
合計	49

* メール相談を通じて来所
 養子縁組希望 4件
 週末里親希望 1件
 その他 1件

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

平成11年度から、全国里親会より「里親養育電話相談事業」として「血のつながらない親と子のためのホットライン」を3年間のモデル事業としてスタートしたが、その委託期間が終了してからも、協会の事業としてホットラインを継続している。（相談電話専用番号：06-4304-1085 月～金 11：00～17：00）

これまでホットラインとしての相談件数を別に挙げてきたが、今年度より統計上はこれまでの愛の手相談室に組み入れることとする。本年度の相談の現状については以下のとおり。

「縁組後のアフターケア」は、思春期の子どもを持つ養親からの相談、養子自身からのルーツ探しなどの相談が見られる。

相談内容	総数	電話	来所・訪問	備考
養護相談	6	4	2	
養育相談	8	6	2	
縁組後のアフターケア	15	8	7	思春期、非行、ルーツ探し等
継続相談	17	12	5	
その他	17	15	2	
合計	63	45	18	

【APCC（思春期妊娠危機センター）】

相談件数は減少傾向にあるが、毎年度、妊娠にまつわる相談は全件の50パーセント前後を占めるといふ傾向は変わらない。（相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10：00～17：00）

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,546件
本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	15	性病	0
人間関係の悩み	0	近親姦	0
自分の身体の悩み	4	How to Sex	0
マスターベーション	3	養子縁組	0
避妊法について	4	その他	4
同性愛	0	合 計	30

Ⅶ. 「ふれあいの家」活動

現在閉鎖中で、平成16年3月に「社会福祉法人そうそうの杜」と新たに賃貸契約を結び、知的障害者の生活支援のためのグループホームとして貸与している。

Ⅷ. 大阪市週末里親開拓事業

平成6年7月から、大阪市より委託された事業であり、20年目を迎えた。今年度は16名の児童の新規登録があった。うち4名が活動を開始し、3名は施設へ推薦中である。2名は方針変更検討のため保留。7名を引き続き探す。里親登録者の受入希望児童の年齢が小学校低学年以下や女兒に偏りがちであるため高齢児は決まりにくく、また、発達の遅れや多動傾向や発達障害がみられる子どもは受け入れ希望者があまりなく、決まりにくい状況にある。昨年度未委託であった16名のうち4名が活動を開始した。残りの12名のうち、2名は方針変更のため中止。1名は実親の同意確認のため保留、引き続き週末里親を探す児童は9名である。

未委託の登録里親については、新規の希望があっても、里親が希望する年齢や性別、距離等があわず、待たせてしまっている場合もある。今年度は来所して申込書を提出した12家庭のうち10家庭が登録した。より広く里親家庭を募り、マッチングまでつなげていく必要がある。協会外の里親（制度開始以前から活動中の里親、施設職員、施設が独自に開拓した里親）は委託里親数82名、委託児童数90名となっている。

〈週末里親開拓〉

	25年度	累計
電話等問い合わせ件数	35	1436
申込書提出件数	12	461
登録件数	10	365
調査件数	9	171

〈平成25年度活動状況〉

里親数		委託数	解除数	26年度へ継続
	25年度中に新規委託	8	0	8
	24年度以前からの委託継続	40	4	36
	合 計	48	4*	44*

児童数	登録	中止	委託数	解除数	26年度へ継続	未委託
	25年度中に新規登録	0	4	0	4	12
	24年度以前に未委託	2	4	0	4	10
	24年度以前からの委託継続		42	5	37	
	合 計		50	5*	45*	22

*数が一致しないのは1名の里親に2名の児童がマッチングがされている里親が1組いるため

〈委託解除された子どもの理由内訳〉

委託解除理由	25年度	累計	委託解除理由	25年度	累計
実親引き取り	2	16	施設措置解除	1	26
養子里親委託	0	15	施設措置変更	0	5
養育里親委託	1	11	府へケース移管	0	2
里親の都合	0	18	その他	0	2
里親子関係悪化	1	29	合計	5	124

【週末里親懇談会】

(1) 9月21日(土) 13:30～16:00 (対象：里親、施設職員)

「研修会」の形で実施した。児童福祉施設や里親の元から自立した子どもの支援を行っている(社福)大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部の藤川澄代氏に児童養護施設出身の子どもたちの自立支援の現状と課題について講演していただいた。

参加数 里親20家庭27名、施設職員12カ所14名、大阪市こども相談センター1名

(2) 4月19日(土) 13:30～16:00 (対象：里親、施設職員)

後期の懇談会は3月末まで謝礼金を配付する目的も兼ね、4月に実施している。今回は例年通りの「懇談会」スタイルで、4グループに分かれ、話し合いをおこなった。

最近活動をはじめた里親もあり、里親同士で経験を共有したり、アドバイスしあったりするなど、活発な意見交換がなされた。最後30分は施設毎のグループをもち、日頃の様子を共有してもらったところ、終了後1時間ほど交流が続いた。

参加数 里親23家庭33名、施設職員14カ所21名

IX. 大阪市よりのその他の委託事業

【大阪市里親制度普及促進事業】

平成24年度より公募事業となり、委託事業者としての選定を受けた。これまでおこなってきた、愛の手運動による里親の開拓、養親子のアフターケア、研修等はこの事業に含まれる。

また、認定前研修、更新研修の講義の企画、運営、施設実習における事務処理等をおこなっており、認定前研修の講義については基本的に府市合同でおこなっている(内容については次項)。

X. 大阪府里親支援機関業務

平成20年10月に大阪府より里親支援機関としての業務委託を受けた。

業務内容は、里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業の実施等である。

【里親制度普及促進事業】

〈里親希望者への研修〉

◆基礎研修(講義・演習、施設見学)

日時	①H25. 4. 27 ②H25. 7. 23 ③H25. 10. 22 ④H26. 1. 25 10:00～17:00
場所	①③ 和泉乳児院・幼児院 ②④ 生駒学園
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「子どもの発達」 ころみカウンセリングセンター 西部美志氏 ・講義「子どもの医療と保健」 和泉乳児院 里親支援専門相談員：森田洋子氏 生駒学園主任：辻本順子氏 ・講義と施設説明 和泉乳児院・幼児院施設長：栗延雅彦氏、大橋和弘氏 生駒学園 里親支援専門相談員：竹田功氏 ・施設見学 ・グループ討議
参加者	①14名 ②18名 ③10名 ④24名 養育19組 養子15組

◆認定前研修Ⅰ・Ⅱ（大阪市と合同）

日時	①H25. 5. 11/5. 25 ②H25. 8. 10/8. 31 ③H25. 11. 17/11. 30 ④H26. 2. 9/2. 15 13:00～17:00
場所	大阪市立社会福祉センター、大阪市こども相談センター
内容	Ⅰ・講義「里親養育の様々な課題」 ①③④家庭養護促進協会 岩崎美枝子 ②中島悦子 ・演習「子どもを引き受けたら何が起こるか」 同上 Ⅱ・講義「里親養育、最低基準」 ①和田静 ②④吉川敬子 ③田邊敦子 ・講義「子どもの権利擁護」 ①③④弁護士 西村英一郎氏 ②弁護士 浜田真樹氏 ・先輩里親経験談 大阪里親連合会 ①岸和田支部 有田祐子氏 ②富田林支部 綿谷広恵氏 ③東大阪支部 辻晃氏 ④吹田支部 井上美津夫・廣子夫妻
参加者	①15名/15名 ②16名/13名 ③13名/9名 ④21名/23名 養育20組/18組 養子13組/13組 ファミリーホーム2組/1組

◆認定前研修（実習）

日時	H25. 4～H26. 3
場所	乳児院4カ所 児童養護施設10カ所
参加者	養育26名（13組） 養子26名（13組）

◆専門里親養育研修（実習）1名が受講及び施設実習終了

日時	H25. 1～H26. 3
場所	児童養護施設1カ所
参加者	1名

◆里親更新研修

日時	①H25. 10. 16 ②H25. 11. 13 ③H25. 12. 7 ④H26. 1. 18 10:00～16:15
場所	①③大阪市こども相談センター ②④大阪市立社会福祉センター
内容	①③・講義「社会的養護の現状と里親委託推進のための取り組み」 大阪府中央子ども家庭センター 地域相談課長 森泉摩州子氏 ・講義と演習 「ほめ上手は叱り上手～まずは親の方から～」 児童家庭支援センター岸和田 臨床心理士 福島直子氏 ・講義と演習 「思春期の対応と自立サポート～青少年の現場より～」 淡路プラッツ 石田貴裕氏、浅井紀久子氏 ・グループ討議 ②④・講義「社会的養護の現状と里親委託推進のための取り組み」 大阪市こども相談センター 相談支援担当課長代理 音田晃一氏 ・講義と演習「子どもの力を引き出すために～あなたができる大切な関わり～」 チャイルド・リソース・センター 河合克子氏 ・講義「児童の自立をどのように支援すればよいか ～アフターケア事業部の事例から～」 大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部 藤川澄代氏 ・グループ討議
参加者	①6名 ②19名 ③26名 ④21名

◆里親更新研修（実習）

日時	H26. 1～H26. 3
場所	児童養護施設6カ所
参加者	13名（8組）

- 【課題】・新制度になってから初めての更新研修は対象人数が多いため4回の開催となった。
・内容については、受講者が受動的にならず、今後里親として子どもに関わる時に何か一つ

でも修得できるものを提供したいと考え、講師に参加型を依頼。「子どもへの関わり方」と「自立支援」を軸にプログラムを作成し、概ね好評だった。

【里親委託推進・支援等事業】

(1) 会議への参加

◆里親委託等推進連絡会（実務者会議）

日時 ①H25. 5. 21 ②H25. 11. 19

内容 ①・里親支援機関業務について ・里親委託を検討する子どもについての意見交換
・里親支援専門相談員の業務の進め方について ・IFCO2013 大阪世界大会について
②・前期の取り組み報告 ・里親支援活動の報告 ・大阪里親シンポジウムについて

◆里親連合会支部長会議

日時 ①H25. 6. 26 ②H25. 8. 5 ③H25. 10. 1 ④H25. 11. 18 ⑤H26. 1. 17 ⑥H26. 3. 3

内容 ①②・夏季宿泊研修について ・普及啓発活動について ・IFCO 世界大会について
③④・ホームページ作成について ・春季里親研修について
⑤⑥・助成金の活用 ・来年度予算 ・連合会の25年度報告及び次年度計画について

(2) 相互交流事業

◆新規委託里親研修

前年度は2回開催を予定したが、参加者が少なく一度延期になったため、今年度は新規委託の状況をみて一度のみ実施。

日時	H26. 3. 1 13:30～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	・先輩里親の体験談 大阪府里親連合会 池田支部 鷺島実氏、吹田支部 松本礼子氏 ・グループ討議
参加者	養育里親6名（4組） 養子親6名（3組）

◆課題別研修

①講義（大阪市と合同）

日時	H25. 7. 27 13:30～16:00
場所	大阪市子ども相談センター
内容	講義「自立支援のあり方を考える～里親さんだからこそできること～」 講師：大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部 部長 藤川澄代氏
参加者	府里親 15名 週末里親 3名

②講義と演習（大阪市と合同）

日時	H25. 11. 9 13:30～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	講義と演習 「ライフストーリーワークの練習」 講師：帝塚山大学心理福祉学部教授 才村真理氏
参加者	府里親 13名 施設職員 6名

(3) 里親会主催「親と子の夏季宿泊研修」への助成

日時 H25. 8. 17～18

場所 小浜・三方五湖方面

内容 1日目 体験発表とグループ討議 2日目 三方五湖巡り、プラネタリウム鑑賞等

参加者 64名(子ども24名)

(4) 地域シンポジウム（相談会）

センター名	日時	場所及び内容	参加者数
池田	①H25. 5. 19 ②H26. 1. 19 10:00～12:00	①箕面文化・交流文化センター 里親、元里子の体験発表と里親相談会 ②池田駅前南会館 講演「家族を作るという視点で考える不妊治療 養親・里親」 カウンセリングルーム with 堀田敬子氏 里親体験発表、個別相談会	①62名 (8組) ②57名 (7組)
中央	①H25. 6. 23 10:00～14:00 ②H25. 11. 3 8:00～	①大東市立市民会館 里親相談会 ②淀川市民マラソンへの参加	① (7組)
東大阪	H25. 7. 6 13:30～16:00	柏原市市民プラザ アゼリア柏原 里親、里子、施設出身者の体験談、里親相談会	68名 (2組)
岸和田	H25. 10. 27 13:30～	・岸和田市浪切ホール ・里親相談会	(11組)
富田林	H25. 7～H26. 3	管内市町村で里親相談会 7. 13 河内長野市 8. 28 河南町 10. 9藤井寺市 11. 10富田林 市12. 18 羽曳野市 1. 22大阪狭山市 2. 15松原市	(7組)
吹田	H26. 2. 16 13:30～16:00	・高槻市立子育て総合支援センター ・講演「児童養護施設とグループホームでの養育経験から」 神戸少年の町 野口ホーム長 野口婦美子氏 ・個別相談会	61名 (3組)

(5) 大阪府里親シンポジウム

日時 H25. 12. 14 13:30～16:00
場所 布施リージョンセンター
内容 里親の体験発表、里子からのメッセージ、相談会
参加者 149名 相談 8組

(6) IFC02013大阪世界大会への参加

日時 H25. 9. 13～9. 16
場所 国際交流センター
内容 基調講演、シンポジウム、分科会に終日出席

【週末里親事業】

①活動実績 24施設 児童74名 のべ599回 1264日
うち、平成25年度新規週末里親子は9組10名

②大阪府週末里親懇談会の実施

週末里親に集まってもらい、活動の様子や日頃感じている悩みについて、情報や意見を交換した。
日時：H25. 7. 20 参加者：週末里親 11組13名 施設職員 19名

③夏季・冬季2泊3日里親事業実施

長期休暇中、家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施。対象児童については、子ども家庭センターと施設で協議。

	協力家庭数	候補児童	マッチング数 () 内は家庭数	うち週末へ移行
25 夏季	13	12	6 (5)	4 (4)
冬季	3	19	3 (3)	1 (1)

週末里親活動を開始する週末里親子が増え、活動可能な週末里親候補が少なくなっている。今後は、週末里親の開拓を進める必要がある。また、対応が難しい子どもが増えており、活動に必要な知識や技術を身につけるための研修を行う必要性を感じる。

X I. 生活資金・奨学資金貸付制度

21歳男性（養子）が自立支援フリースクールへ通う学費1年分を、教育支援資金として316,800円貸し付けた。無事に1年間スクールへ通うことができたとの報告を受け、男性は派遣社員として就労し、来年度以降返済をおこなう予定である。

X II. その他の活動

◆新聞社等マスコミからの取材に対応した。

13. 4.22 読売新聞東京本社北口記者 来所取材
- 6.25 読売新聞大阪支社北口記者 来所取材 民間養子あっせん団体について
- 7.11 読売新聞記事を受けて 毎日新聞重石記者から電話取材
- 7.11 " 共同通信社和田記者から電話取材
- 7.11 " 東京新聞社会部山口記者から電話取材
- 7.25 朝日新聞後藤記者 電話・メール取材 GLOBEでの養子縁組特集
- 7.31 毎日新聞社会部反町記者 来所取材 養子斡旋団体について
10. 2 読売新聞東京本社編集局社会部杉浦記者 来所取材
10. 7 NHK八幡ディレクター来所
11. 7 共同通信社大阪支社社会部帯向記者 ご挨拶
- 11.25 共同通信社船木記者 取材依頼のご挨拶
- 12.11 読売新聞大阪支社北口記者 来所取材 新年企画
- 12.20 読売新聞大阪本社の北口記者、森田記者 来所取材
- 12.21 日本経済新聞の松浦記者 来所取材
14. 1.29 共同通信帯向記者 来所取材
- 1.31 毎日新聞反橋記者 来所取材
- 3.18 共同通信金子記者 来所取材
- 3.31 産経新聞池田記者 来所取材

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

13. 4. 9 田島童園松崎氏
- 5.17 環の会西田氏
- 5.29 堺陵東ライオンズクラブ井上氏
- 5.31 週末里親野中氏と有限会社サランヘルパーセンター西原氏
6. 5 元毎日新聞記者松永氏
6. 6 最高裁判所司法研修所の司法修習生の中村響子氏と中村めぐみ氏
- 6.17 堺陵東ライオンズクラブ南会長
7. 4 株式会社マザーハウス横手氏
- 7.29 会津地方里親会の橋氏ほか6名
8. 1 筑波大学人文社会科学研究科大学院1回生の津田さん
- 10.22 元YMCAの西山氏、岡山YMCAの池田氏
- 11.18 大阪教育大学4回生辻井氏
- 11.19 早稲田大学院生前川氏
- 1.18 認定NPO法人フローレンスの駒崎代表理事と藤田経営企画室室長
14. 1.20 愛の聖母園川原園氏が里親支援を学ぶため実習実施（～26日）
- 1.28 関西学院大学4回生の大畑さん
2. 7 日本財団国際協力グループBHNルームリーダー公益・ボランティア支援グループ高橋氏
- 2.10 京都府健康福祉部岡田氏、京都府家庭支援総合センター田村氏
- 3.27 流通科学大学加藤先生、高津学園大熊氏

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいた。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

- * 社団法人大阪府宅地建物取引業協会泉州支部平成25年度通常総会懇親会 (43,428円)
- * 大阪曾根崎ライオンズクラブ チャーターナイト40周年記念式典・祝賀会 (400,000円)
- * 日本こども支援協会より物品多数
- * 天野もと子さんより玩具、衣服多数
- * 毎日新聞大阪社会事業団よりふれあいキャンプ助成 (180,000円)
- * 大阪南YMCAよりふれあいキャンプ助成(147,000円)
- * グローバルアシスト神谷理事より玩具多数
- * 毎日新聞大阪本社社会部第45回愛の手チャリティオークション (1,320,300円)
- * 会員の有岡さん 飴売りボランティア用エプロン20枚
- * (株)日本アシストの阿江社長と青木さん チャリティゴルフ大会 (238,000円)
- * 大阪曾根崎ライオンズクラブ 1月第2例会に出席 (100,000円)
- * 社団法人大阪府宅地建物取引業協会泉州支部 新年祝賀互礼会 (187,666円)
- * 社団法人大阪府宅地建物取引業協会 (229,776円)

◆府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市子ども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。

◆「養子縁組あっせん法」公聴会、養子縁組あっせん団体顔合わせ会 (4月17日 岩崎・山上)、民間養子縁組団体等協議会の結成等についての集会 (7月15日 岩崎)、院内集会「転換期を迎えた養子縁組」(10月29日 岩崎・山上)に出席。

◆児童書『少年剣士なつか』(あいだひさ作)を6月にパレードより出版。毎日新聞(8月2日)、神戸新聞(8月26日)で紹介された。

◆『子どもの養子縁組ガイドブックー特別養子縁組・普通養子縁組の法律と手続きー』を12月に明石書店より出版。2月に増刷。

◆同書を脚本化したものが、9月9日～13日に、MBSラジオ「ありがとう浜村淳です」のラジオドラマコーナー「ありがとうファミリー劇場」で放送された。

◆9月13日～16日に開催されたIFC02013大阪世界大会に参加。分科会『大阪の家庭養護の取り組み～関係機関連携』で、児童相談所、里親会、里親支援専門相談員とともに発表。

◆大阪府共同募金会の助成を得て、広報用ポストカードを作製した。イラスト、写真を養親、養子、里親、里子より募り、10種類10000枚仕上がった。